

小天守4階解体について

【現在の方針(工事中)】

詳細な調査・設計の結果、下記の理由により、部分的な再建が必要
(再建理由)

- ①大天守6階
 - ・下層との構造上の違いにより、柱脚部分の損傷が大きい
- ②大・小天守つなぎ部分、③小天守下屋の屋根・壁・床、④附櫓
 - ・詳細調査により、想定より大きな損傷が判明(スラブ沈下に伴う屋根の変形)

- ⑤小天守4階
 - ・耐震診断基準を満たすために、小天守4階の軽量化が必要

耐震改修計画
(鉄骨鉄筋コンクリート造:地上6階・地下1階)

H29.9.28
既存建築物の
第三者構造評価機関により
適正である旨の評価書交付

①大天守6階の
やり替え



②大小天守つなぎ部分の
やり替え

⑤小天守4階のやり替え

③小天守下屋の屋根の
やり替え



④附櫓のやり替え

③小天守下屋の壁・床の
やり替え

